



**2023年3月期 第2四半期
決算補足説明資料**

2022年 10月31日（月）

**ウェーブブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
（東証スタンダード市場）**

■ 売上高 11,427百万円（前年同期比+5.3%、上期予想比△4.8%）

- マテリアルソリューション事業は原材料価格高騰に伴う売価転嫁値上げや、今期より連結に取り込んだ（株）エイゼンコーポレーションの売上高計上等により前年同期比増
- アドバンステクノロジー事業は主に自動車向け販売を行う金属調加飾フィルムが好調に推移するも、仕入れ販売を行うディスプレイ用拡散板販売の不振により前年同期比減

■ 営業利益 448百万円（前年同期比△16.5%、上期予想比△0.3%）

- マテリアルソリューション事業は原材料価格の高騰により前年同期比マイナス
- アドバンステクノロジー事業は金属調加飾フィルムの販売の好調と、下期に予定する一関工場の稼働停止に備えた備蓄製造により利益増加

■ 当期純利益 2,289百万円（前年同期比+328.7%、上期予想比+4.5%）

- 第1四半期において、クレアネイト（株）（旧：（株）ウェーブロックインテリア）の株式譲渡により特別利益2,528百万円を計上。これにより同社の全株式の譲渡完了
- 保有資産の売却に伴い、過年度計上した減損損失について回収可能性があると判断し、法人税等調整額（益）（繰延税金資産）69百万円を計上

(単位：百万円)

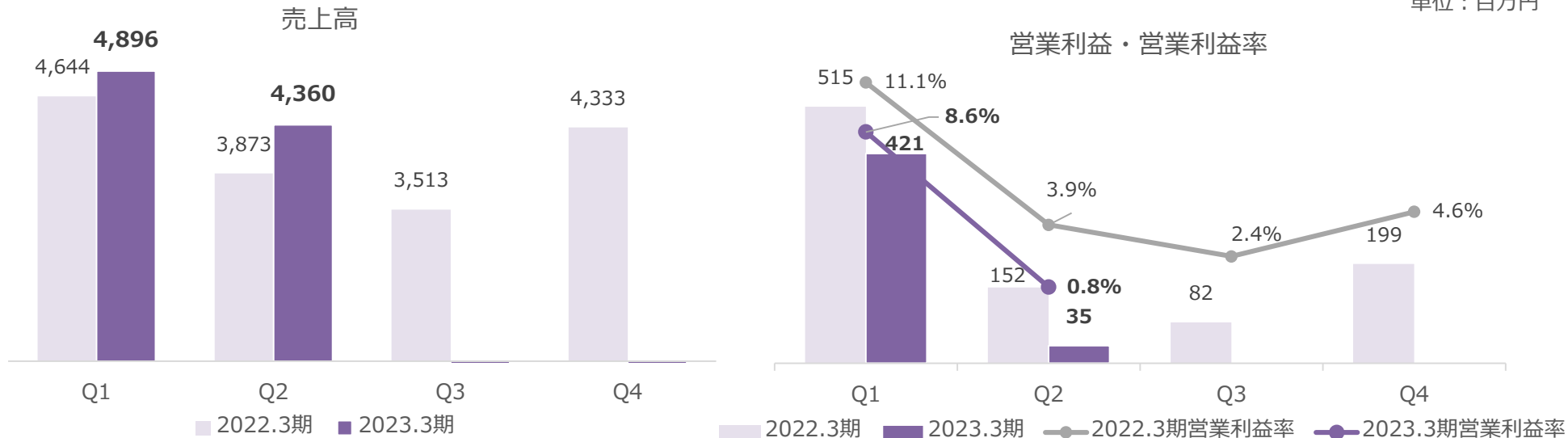
| | 2022年3月期 第2四半期累計 (実績) | 2023年3月期 第2四半期累計 (実績) | 前年同期比 増減率 | 2023年3月期 第2四半期 累計予想 (7/29公表) | 予想比 | 2023年3月期 通期予想 (7/29公表) | 進捗率 |
|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------|---------------------------------------|--------|------------------------------|--------|
| 売上高 | 10,847 | 11,427 | +5.3% | 12,000 | △4.8% | 24,400 | 46.8% |
| 営業利益 | 537 | 448 | △16.5% | 450 | △0.3% | 590 | 76.0% |
| 経常利益 | 701 | 655 | △6.6% | 570 | +15.0% | 710 | 92.3% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 534 | 2,289 | +328.7% | 2,190 | +4.5% | 2,240 | 102.2% |
| 1株あたり 当期純利益(円) ¹ | 54.55 | 271.35 | - | 259.61 | - | 265.53 | - |

1. 発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により計算しています。期中平均株式数は、2022年3月期第2四半期は9,789,770株、2023年3月期第2四半期は、8,435,849株です。

(単位：百万円)

| | 2022年3月期 第2四半期 (実績) | 2023年3月期 第2四半期 (実績) | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|-------------|---------------------------|---------------------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 10,847 | 11,427 | +579 | +5.3% |
| 材料ソリューション | 8,517 | 9,257 | +739 | +8.7% |
| アドバンステクノロジー | 2,346 | 2,182 | △ 163 | △ 7.0% |
| その他 | △ 16 | △ 12 | - | - |
| 営業利益 | 537 | 448 | △ 88 | △ 16.5% |
| 材料ソリューション | 667 | 456 | △ 210 | △ 31.6% |
| アドバンステクノロジー | 206 | 339 | +132 | +64.3% |
| その他 | △ 337 | △ 348 | - | - |

単位：百万円



リビングソリューション：

- ホームセンター向け販売は一昨年の巣ごもり需要からの反動減に加え、ホームセンター自体の客足が伸びず、売上高、利益ともに前年同期比減

ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション：

- 建設・仮設工事向けにおいて、防音シートは買い替え需要により好調に推移するも、OEM生産への切り替え遅れや一部製品からの撤退、原材料価格上昇分の売価転嫁遅れより売上高減少。利益獲得も苦戦
- 一方、大型商業施設向けの防煙垂壁用高透明不燃シートは好調に推移

パッケージングソリューション：

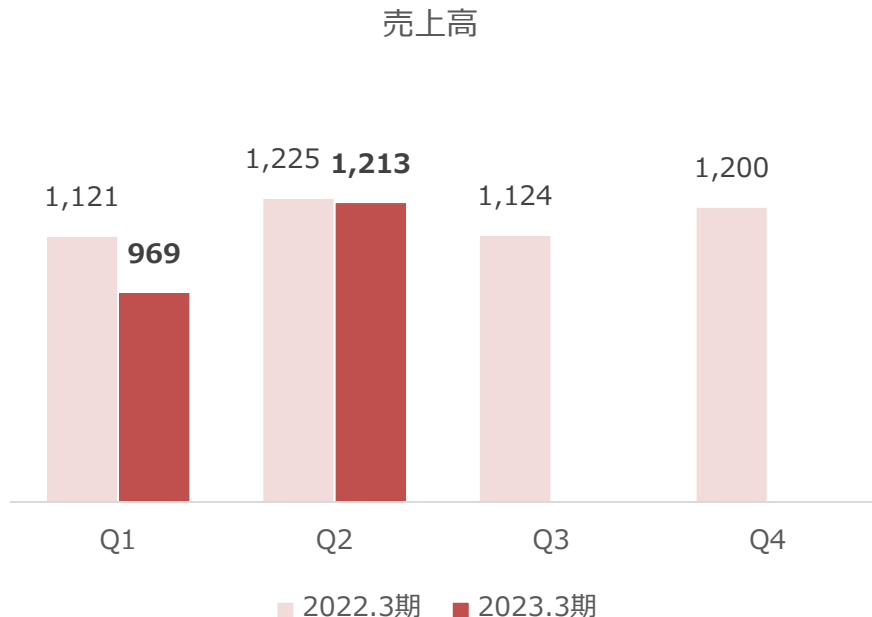
- ヨーグルト容器向け販売の堅調や原材料価格上昇分の売価転嫁値上げにより売上高伸長も、利益においては原材料価格の高騰が値上げに追い付かず前年同期比大幅減。前期上市した業界初である植物由来のバイオマスプラスチック配合ミルクポーションは他食品包材へも展開

アグリソリューション：

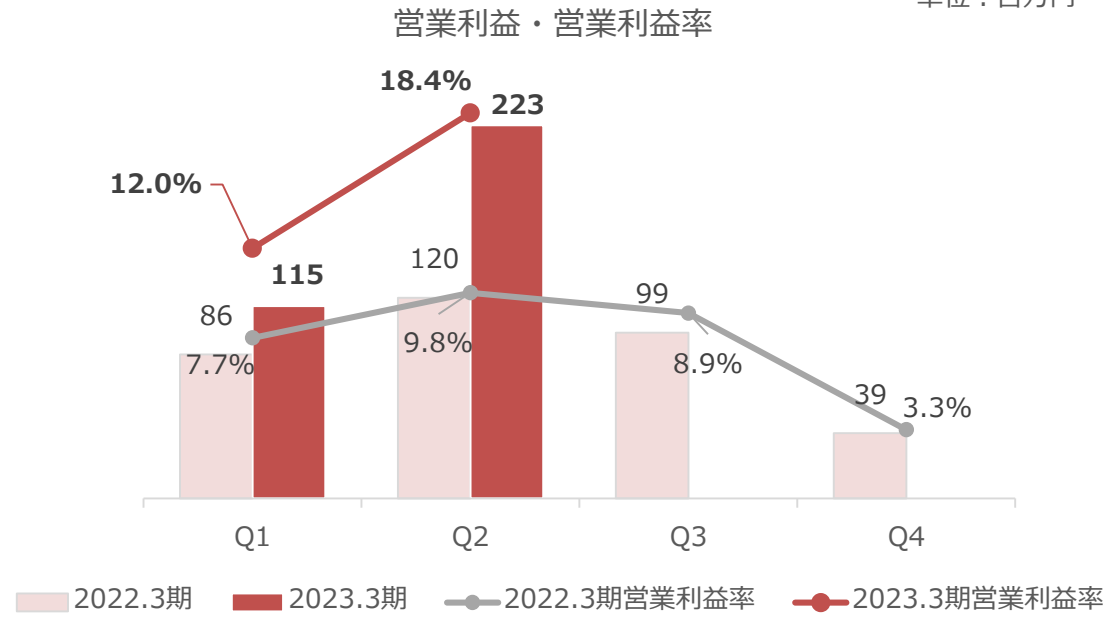
- エネルギーコスト上昇等により農業資材への投資意欲は低迷するも、輸入資材である土壌改良剤や農業用保温資材、遮光ネットが好調に推移

単位：百万円

売上高



営業利益・営業利益率



デコレーション&ディスプレイ（金属調加飾フィルムおよびPMMA/PC2層シートから名称変更）：

- 自動車向け金属調加飾フィルム販売においては、北米向け販売が売上を牽引。EVメーカーであるリビアンに続き、GMの高級車ブランド「キャデラック」初のEV車「リリック」のエンブレムと内装パーツへ採用され、今期から本格量産開始。両パーツともに金属調加飾フィルムの機能の1つである光透過が評価された。上海ロックダウンの影響を受けた中国および国内メーカー向け販売は徐々に回復を見込む。インド・東南アジアにおける二輪車向け販売は引き続き好調
- 自動車向け内装ディスプレイ用途の高透明二層シートにおいては、先進運転支援システムの開発ツールとして期待されるVRヘッドセット用部材販売は好調に推移するも、自動車向け販売は上海ロックダウンの影響を受け前年同期比減。利益においては、下期に予定する一関工場移設に伴う工場稼働停止に備え備蓄生産を実施したことにより、前年同期比増加

その他：

- ディスプレイ用拡散板は一昨年からの巣ごもり需要の反動減等を受け売上高は大幅に減少。これによりアドバンステクノロジー事業の売上高は前年同期比減。ただし仕入れ販売のため利益への影響は些少

■ IATF16949（自動車産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格）認証取得完了

多くの自動車メーカーが部品の調達基準として同規格を採用。認証取得により世界規模で部品調達をしている顧客への信頼度が向上

■ 自動車向け金属調加飾フィルムの生産能力を6割増産

2022年中に、金属調加飾フィルムを製造する茨城県古河工場の生産能力を増強。月15万メートルから月25万メートルへ

■ 金属調加飾フィルムを利用した自動車向け部品生産能力を4割増産

自動車部品を製造する名古屋工場の近隣に名古屋第二工場を新設（2022年9月に稼働開始）。古河工場で製造した金属調加飾フィルムを使用し、自動車向けプラスチック部品を製造。生産能力は月2万5千台分から3万5千台分へ

- 売上高、営業利益、経常利益は7月29日に上方修正した業績予想を維持
- 当期純利益は、第2四半期実績が7月29日公表の通期予想を上回ることを受け通期予想を上方修正
- 上期において、保有資産売却に伴い過年度に計上した減損損失に係る将来減算一時差異について回収可能性があると判断し、法人税等調整額（益）および繰延税金資産69百万円を計上。通期業績予想へも反映

(単位：百万円)

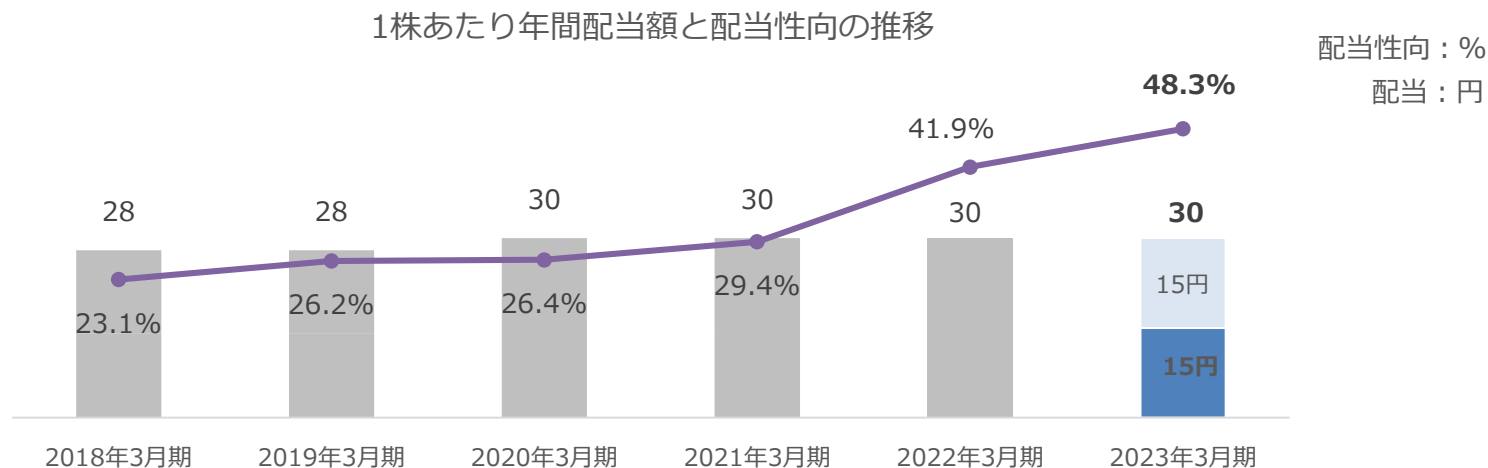
| | 第2四半期 累計実績 | 7/29公表 通期業績 予想 | 進捗率 | 通期予想 修正 | 増減比 |
|-------------------------|---------------|----------------------|---------------|------------|-------|
| 売上高 | 11,427 | 24,400 | 46.8% | 24,400 | - |
| 営業利益 | 448 | 590 | 76.0% | 590 | - |
| 経常利益 | 655 | 710 | 92.3% | 710 | - |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 2,289 | 2,240 | 102.2% | 2,310 | +3.1% |

■ 基本方針

- 配当性向35%以上を目安に、単年度の業績ボラティリティに左右されない安定的な配当を維持

■ 2023年3月期配当

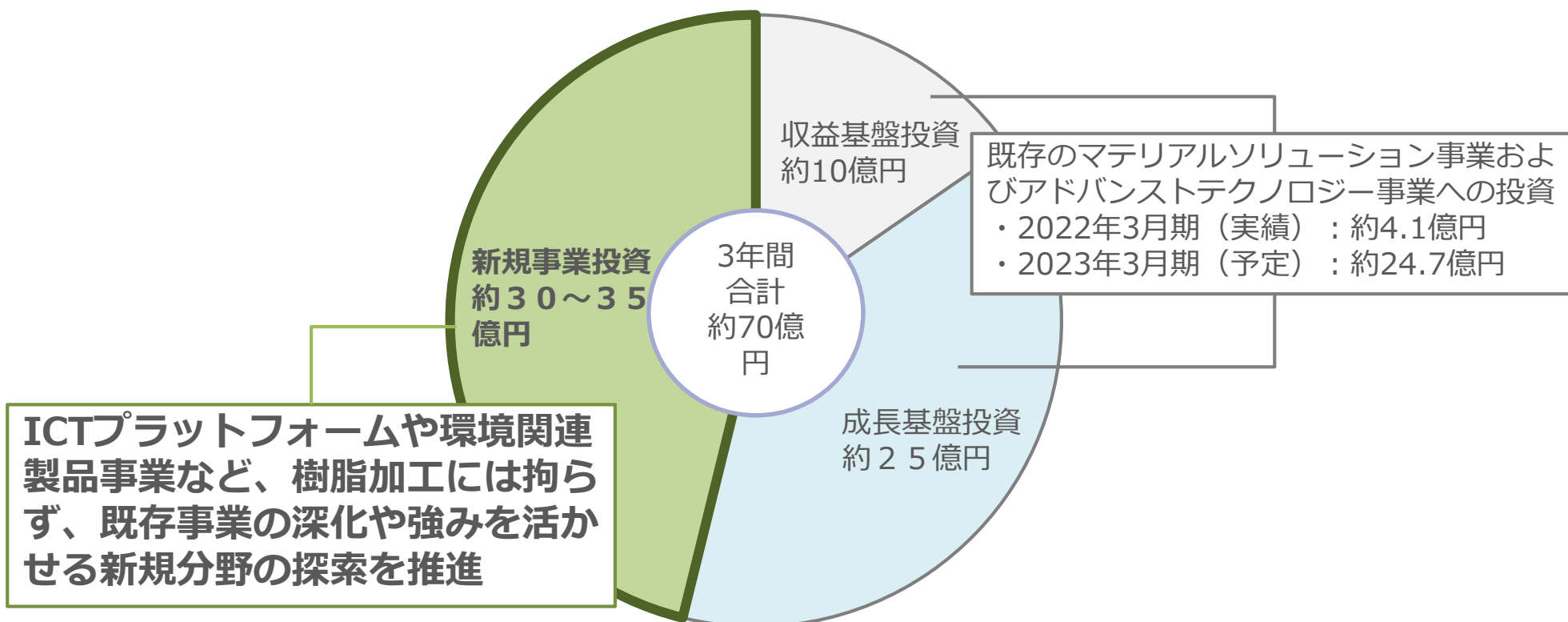
- 第2四半期末、期末それぞれ1株あたり15円（通期30円）
- 配当性向は48.3%（クリアネイト（株）（旧（株）ウェーブロックインテリア）株式譲渡による影響を除いて算出）



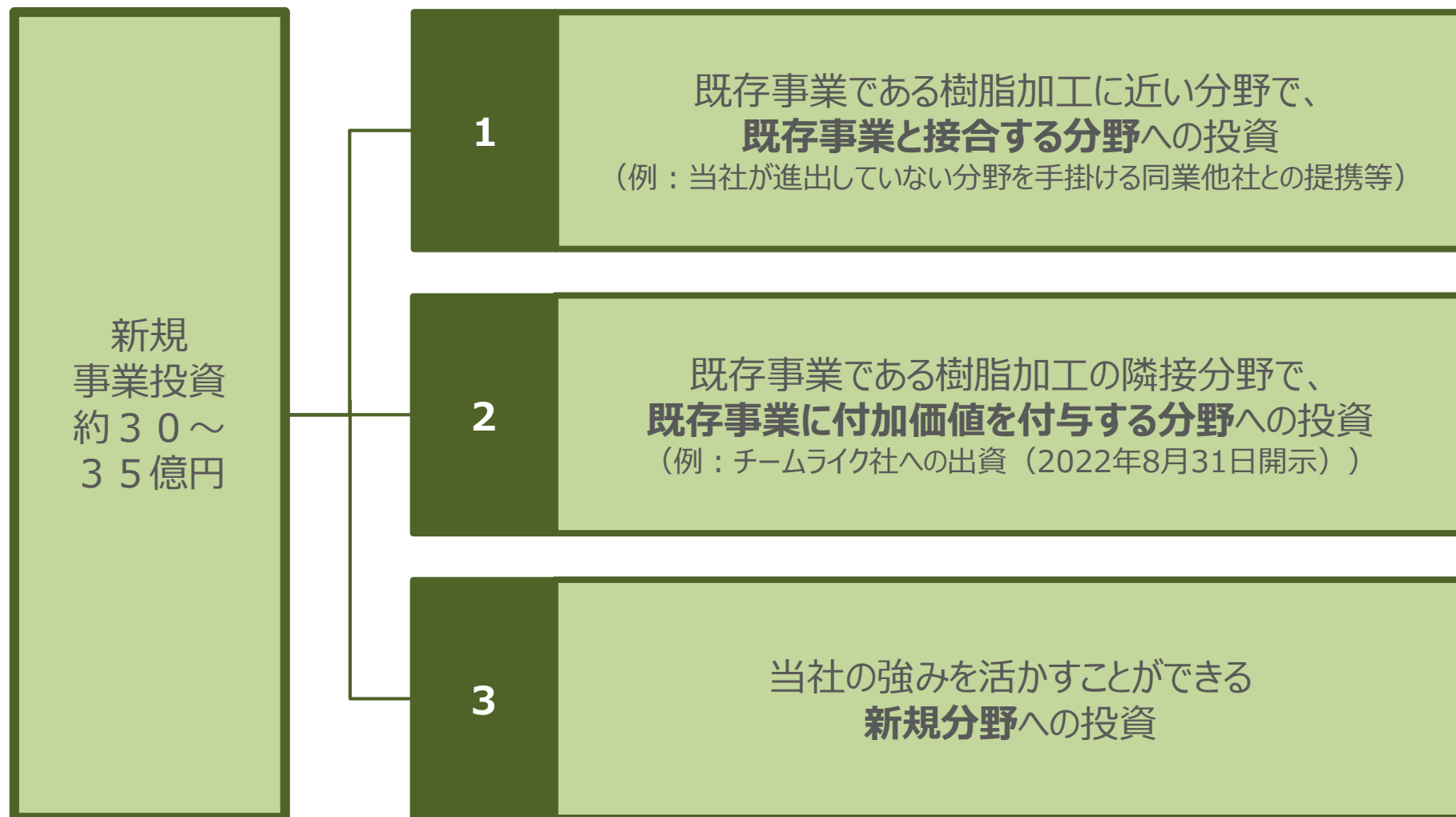
※ 2020年3月期までの配当性向は負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向（負ののれんは2020年3月期に償却が終了）

※ 2021年3月期および2023年3月期の配当性向はクリアネイト（株）（旧（株）ウェーブロックインテリア）株式譲渡による影響を除いて算出

- 2021年3月期から2023年3月期までの3年の間に約70億円の投資を予定
- そのうち新規事業投資へは約30～35億円の投資を計画



※投資金額は事業供用開始時を基準に記載



APPENDIX

- 資産合計 25,974百万円
- 自己資本比率 61.5% (前期末56.6%)

(単位：百万円)

| | | | |
|------|--------|-----------|---------|
| 資産合計 | +1,718 | 負債・純資産合計 | +1,718 |
| 流動資産 | +1,341 | 負債 | △ 545 |
| 現預金 | +782 | 営業負債 | +117 |
| 営業債権 | +57 | 有利子負債・社債 | △ 1,572 |
| 棚卸資産 | +809 | 未払法人税等 | +691 |
| その他 | △ 307 | その他 | +218 |
| 固定資産 | +377 | 純資産 | +2,264 |
| 固定資産 | +309 | 株主資本 | +2,161 |
| その他 | +67 | その他の包括利益他 | +102 |

- 当期純利益+2,289
- 配当支払い△127

- (株) エイゼンコーポレーション連結によるのれん+230、保険積立金+225
- クレアネイト(株)(旧ウェーブブロックインテリア)株式売却等による投資有価証券△361

■ 現金及び現金同等物 2,743百万円 (2022年3月期末より782百万円増加)

(単位：百万円)

| 2023年3月期第2四半期 | |
|------------------------------|----------------|
| 税金等調整前当期純利益 | 3,036 |
| 減価償却費 | 293 |
| 減損損失 | 114 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △ 2,528 |
| 運転資本増減 | △ 628 |
| 法人税等の支払額 | △ 266 |
| その他 | 753 |
| 営業キャッシュ・フロー | 774 |
| 固定資産の収支 | △ 557 |
| 投資有価証券の収支 | 2,608 |
| 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出 | △ 349 |
| その他 | 75 |
| 投資キャッシュ・フロー | 1,777 |
| フリーキャッシュ・フロー | 2,552 |
| 借入金・社債の収支 | △ 1,644 |
| 配当金の支払 | △ 127 |
| その他 | △ 7 |
| 財務キャッシュ・フロー | △ 1,779 |

△ 2,528: クレアネイト(株)(旧:(株)ウェーブロックインテリア)の株式譲渡

2,608: クレアネイト(株)(旧:(株)ウェーブロックインテリア)の株式譲渡

△ 349: (株)チームライクへの出資

△ 349: (株)エイゼンコーポレーション株式の取得

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。